

# 春～夏に注意したい子供の感染症

保育園や学校など子供が集団生活を送る場では、感染症にかかる機会も多いですね！？  
今回はこれからの時期に知ってほしい感染症についてご紹介します！



## \*細菌による感染

### A群溶血性レンサ球菌(溶連菌)

\*当院で迅速診断検査が出来ます

- ・のどが真っ赤になって痛みが強く、高熱が出る場合があります。
- ・**莓舌**と呼ばれる舌に赤いぶつぶつが見られることがあります。また、全身に痒みを伴う小さい赤い発疹が多数出現することもあります。
- ・リウマチ熱・急性糸球体腎炎などの合併症に注意が必要です。
- ・抗生物質が大変良く効くため、薬を飲めば2～3日で症状が改善しますが、自己判断で服薬を中止せずに指示どおりに**きちんと最後まで飲みきることが大切です！**途中でやめてしまうと、菌が残っていて再発したり合併症を引き起こす可能性があります。指示通り最後までしっかり飲みきりましょう！



## \*RSウイルスとよく似たウイルス感染

### ヒトメタニューモウイルス

\*当院で迅速診断検査が出来ますが、保険診療上の制限があります

- ・症状や重症度はRSウイルスと似ていますが、このウイルスは**3～6月の限られた時期に流行**がみられます。そのため、この時季に乳幼児が喘鳴（ゼイゼイ、ヒューヒュー）と発熱で受診し、RSウイルスの検査が陰性の場合、このヒトメタニューモウイルスへの感染が疑われることが多いです。
- ・1～2歳児の感染が最も多く、RSウイルス同様に何度もかかってしまうことがあります。
- ・咳や鼻水、発熱などの風邪症状が1週間ほど続きます。しかし重症化すると肺炎や気管支炎を引き起こし、喘鳴（ゼイゼイ、ヒューヒュー）や呼吸困難を引き起こすこともあるので注意しましょう。

## \*眼に注意したいアデノウイルス感染



目の状態によっては小児科だけでなく眼科にも相談しましょう！

\*アデノウイルスは当院で迅速診断検査が出来ます

### 流行性角結膜炎

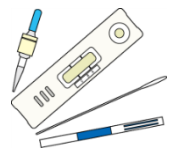
- ・両目に結膜炎の症状(充血・涙目・目やに・瞼の裏側に小さなぶつぶつ・瞼の腫れ)が強く現れます。
- ・発熱やのどの痛みはほとんどありません。
- ・結膜(白目)の炎症に加え、**角膜(黒目)にも炎症を認めることがあります。**
- ・感染力が非常に強く流行性です。

### 咽頭結膜熱

- ・結膜炎(目の充血)・咽頭炎(のどの痛み)・発熱の**3つ**の症状が見られます。
- ・角膜(黒目)への炎症はほとんどありません。
- ・プールの水を介して感染することもあることから「**プール熱**」とも呼ばれています。



鼻やのどを綿棒でこすってキットで検査すると、数分で結果が分かるよ！



## \*ウイルスによる感染 【夏かせ】

### ヘルパンギーナ

- ・高熱・のどにできる**水疱**が特徴
- ・38～40度の発熱で発症しのが赤く腫れます。のどの奥に小さな水疱が数個～数十個見つかります。水疱は2～3日でつぶれて黄色い潰瘍になります。
- ・発熱は2～4日で下がり、水疱は1週間程で治ります。

### 手足口病

- ・手のひら、足の裏、口の中に現れる**水疱性の発疹**(白っぽい水ぶくれのような発疹)が特徴
- ・普通は**痛みやかゆみはありません。**
- ・発病の際に微熱を伴う場合がありますが、1～2日でたいてい下がります。また水疱も1週間程で消失します。

